

## 「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	九州大学	整理番号	H02
プログラム名称	グリーンアジア国際戦略プログラム		
プログラム責任者	原田 明	プログラム コーディネーター	谷本 潤

### ◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

#### 【総括評価】

計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

#### 【コメント】

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、プログラムの理念が学生に浸透し、良好な状況になってきている。また、5年間で5つのゲートを順次通過させる仕組みであるステージゲート制により教育の質が保証され、各ステージに応じて連携・研修先担当者をメンターに組み入れるなど指導体制が定着しつつあることは評価できる。このように、リーダーを養成する学位プログラムの構築が計画通り進んでいる。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、国内の企業・研究機関における研究開発などの実習を課すプラクティススクールにより、広く社会経済を俯瞰できるような教育がなされており、グローバルリーダーとしての活躍が期待される。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、①研究室ローテーション、②プラクティススクール、③国際インターンシップなどを通じて国内外の実践経験を積み、常に国際的視野を広げることを意識しながら、理工系リーダーとなるに相応しい五つの力（研究力・実践力・俯瞰力・国際力・牽引力）を獲得させる取組がなされていることは評価できる。

優秀な学生の獲得については、留学プログラム検索サイトを通じた情報発信により、多数の留学生を確保しているが、日本人学生は依然として少ない。より多くの優秀な日本人学生の獲得に向けて工夫すべきである。なお、学生への経済的支援については、支援期間終了以降も奨励金支援を継続し、学生が安心して研究とプログラムの活動に専念できるよう配慮されたい。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについては、国際インターンシップによる海外の企業・研究機関での実習など、国際的な視点を意識しつつ、ステージゲート制により各ステージにおいて厳密な評価が行われることにより質が保証され、充実したシステムが構築されている。

事業の定着・発展については、学内の他の2つのリーディングプログラムとの連携も進められ、本事業の学内での定着と発展が期待できる。「博士課程教育リーディングプログラム」の理念に従い、日本の大学院教育のモデルとなることが期待される。